

富田総ぐるみ子どもまもり隊（愛媛県）

「善い行いをする児童の表彰式」～地域の絆を深める～

活動地域

富田地区は今治市中心部から南東方面約6キロに位置する田んぼの広がる地域で、昭和23年には水田酪農の発祥の地区として全国的にも有名になりました。

今治市内でも、児童数、生徒数の多い地域で、小学校674名、中学校481名です。通学距離は山側で6キロ、海側で5キロと大変広い校区で、通学に1時間以上かかる児童もいます。

団体概要

富田地区は、平成14年頃から不審者情報が多くなりました。不審者が出るたびに、青少年補導委員会、PTA、学校関係者が通学路に立つなどの対応をしてきましたが、これでは十分な対応ができないということで、平成16年4月に、愛媛県下でも初となる子どもまもり隊「富田総ぐるみ子どもまもり隊」が結成されました。

まもり隊は、小中学校PTA、公民館、婦人会、自治会等25団体のメンバーから構成をされており、地区内に12支部、会員登録人数は197人です。平成18年12月には、青色防犯パトロール隊の活動が開始され、青パトの登録台数は24台となっています。活動時には、ロゴマークと個人登録番号の付いた制服、名札、腕章等を着用して活動しています。

また、現在、地区内に125灯の青色防犯灯を設置しています。青灯は、人間の心を和ませる防犯の灯りとして、犯罪防止に役立っています。

活動内容

○登下校の見守り

会員が自主的に、登校時間帯にあわせて通学路に立っています。自宅から5キロある学校まで児童を迎えに行き、一緒に下校しながら自宅まで見守り活動をしている会員もいます。毎年4・5月は、新1年生が慣れない通学路を登下校するため、「児童生徒を見守り育てる月間」としています。

○統一パトロール(青パト隊)

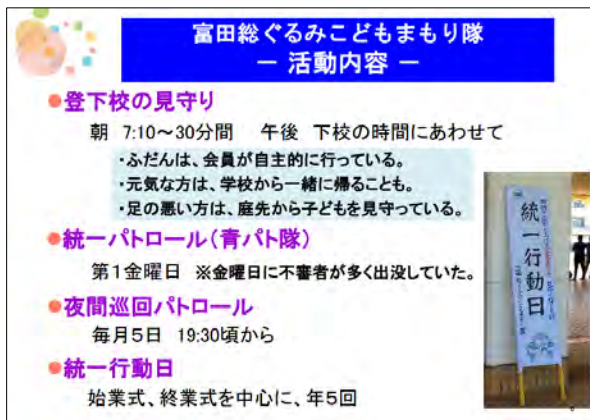
金曜日に不審者情報が多いという分析結果に基づいて、毎月第1金曜日に青パト統一パトロールを実施しています。

○夜間巡回パトロール

毎月5日には老人会と合同で、夜間の巡回パトロールを実施しています。

○統一行動日

始業式と終業式を中心に、年5回、子どもまもり隊会員と青パト隊が合同でパトロールを実施しています。



統一行動日と不審者情報があった時には、緊急連絡網を通じて青パト隊に出動を要請し、出動した地域でパトロールの強化を行っています。また、広報車で、「早くお家へ帰りましょう。不審者に会ったら、警察、学校、公民館に緊急連絡しましょう。」と呼びかけています。

○その他の活動

地域の人たちに協力を求めるため、地区内に啓発の看板やステッカーを設置したり、通学路を中心に青色防犯灯を設置するなどの活動をしています。また、地元の小学校と協力して、「田んぼの学校」で、年間を通じて子どもたちと一緒に米作り作業をし、収穫祭や餅つき大会などを実施して、子どもたちとの絆を深めています。

富田総ぐるみ子どもまもり隊の活動

- 看板・ステッカーの設置



- 青色防犯灯の設置
- 「田んぼの学校」での米作り




秋には全校で餅に
田んぼの学校

今後の課題と解決に向けた取組方策

○活動を継続・定着させることは容易ではない
マンネリ化も問題ですが、ずっと変わらずに続けることに意味がある活動もあります。

○後継者の育成

今の体制は、結成当時から中心的な役割を担っているメンバーで維持されており、皆高齢になっています。熱心に継続して活動してくれる後継者の育成が必要です。

○活動資金

活動資金はほとんどが企業や団体、個人からの寄付協力金です。活動の中には、より多くの資金があればもっと充実されると思うものもあります。資金を増やすためには、私たちが地域に向けてより充実した活動を提供し、協力してくださる方を増やすことが必要です。

○善い行いをする児童の表彰式

課題解決に向けた取組方策として、地域全体で「善い行いをする児童、生徒を、地域、学校、家庭、家族ぐるみで褒めたたえ励ます推進運動」を実施しています。会員や学校、関係者と選考会議を開き受賞者を選考し、毎年3月に10名程度を表彰します。

これにより、子どもたちから積極的に声を掛けてくれるようになったり、感謝の手紙や言葉をいただくようになり、会員もよりやりがいを感じるようになりました。保護者にも活動の目的や趣旨が伝わり、積極的に参加する若手のメンバーが増えていきます。小学校からも子どもたちの挨拶がとても良くなったなど、地域の絆を一層強いものにする一助になっているのではないかと思います。

○高齢者への愛の声掛け

理事会や総会に、地域包括支援センターの方をお招きして、認知症についての講義をしてもらい理解を深めています。パトロールでは、子どもだけでなく、高齢者にも声をかけるようにしています。

地域全体があたたかい心で広がるように活動を続けたいと思います。

富田総ぐるみ子どもまもり隊
— 課題 —

- 地域に根差した活動を継続・定着させることは容易ではない。
- 後継者の育成
現在の体制は、団体結成時から中心的役割を担っているメンバーであり、後継者の育成が課題。
- 活動資金について
活動資金は企業や団体、個人からの寄付協力金。

課題の解決に向けた取組方策①

善い行いをした子を
しっかりと地域で褒めて、
広げていきましょう



課題の解決に向けた取組方策②

- 高齢者へも声かけを

パトロール中に…
土砂降りの雨の中を一人で歩いている高齢者
公園で倒れている高齢者

↓

理事会、総会時、包括支援センターの方を招き
認知症の方への対応等を学ぶ

子どもだけでなく、高齢者へも声をかける。
地域全体が、あたたかい心で繋がるように、活動を続けていきたい。